



2022_1Q | Result

株式会社スノーピーク [証券コード：7816]

Mission Statement

The Snow Peak Way



私達スノーピークは、
一人一人の主体性が最も重要であると自覚し、
同じ目標を共有する真の信頼で力を合わせ、
自然指向のライフバリューを提案し実現する
グローバルリーダーになろう。

私達は、常に進化し、革新を起こし、
時代の流れを変えていきます。

私達は、自らもユーザーであるという立場で考え、
お互いが感動できる体験価値を提供します。

私達は、地球上の全てのものに
良い影響を与えます。

INDEX

- ➔ 2022_1Q 決算概要
- ➔ ビジネスハイライト
- ➔ Appendix

2022_1Q | 決算概要



2022_1Q | ハイライト

- FY22.1Qの売上は**前年同期比+40.4%増**、**営業利益が+67.0%増**と大幅増収増益を達成。
- 日本では、新型コロナウイルスの感染者急拡大や厳しい寒さの継続により小売り店舗における来店鈍化が確認されたが、**キャンプシーズンに向けた卸売り先での売り場拡充や取扱商品拡大**により販売が伸長したことで好調さを維持。
- 海外拠点では、新型コロナウイルスの感染状況の違いにより経済活動の再開のばらつきがあるが、**ブランド認知の浸透に伴い全ての地域で増収を達成**。ただし、世界的な海上輸送の混乱影響が米国を中心に見られた。

2022_1Q | 連結業績概要（対 前年実績）

- FY22.1Q累計の売上は7,084百万円と前年比2,038百万円増加、営業利益は935百万円と前年比375百万円の増加、当期純利益は642百万円と前年比231百万円の増加。
- 昨年から継続する世界的なキャンプ需要の拡大を背景に大幅増収増益。

項目 (単位：千円)	第1四半期			前年同期比
	FY22.12 (実績)	FY21.12 (実績)		
売上	7,084,149	5,045,903	+ 2,038,246	+ 40.4%
売上原価	3,309,772	2,322,842	+ 986,930	+ 42.5%
売上総利益	3,774,376	2,723,060	+ 1,051,316	+ 38.6%
売上総利益率	53.3%	54.0%		▲ 0.7%pt
販管費	2,839,189	2,162,977	+ 676,212	+ 31.3%
営業利益	935,186	560,083	+ 375,103	+ 67.0%
営業利益率	13.2%	11.1%		+ 2.1%pt
税前当期純利益	972,887	633,526	+ 339,361	+ 53.6%
四半期純利益※	642,050	410,428	+ 231,622	+ 56.4%
四半期純利益率	9.1%	8.1%		+ 0.9%pt

※ 当第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」）等を適用
前期以前の数値については、収益認識会計基準を遡及適用していない為、前年同期比については参考値（次ページ以降同様）

※ 非支配持分控除後の親会社株主に帰属する四半期純利益を「四半期純利益」と記載

2022_1Q | 販売費及び一般管理費（対前年実績）

- FY22.1Q累計の販売費及び一般管理費は2,839百万円と前年比676百万円の増加。

項目 (単位：千円)	第1四半期			
	FY22.12 (実績)	FY21.12 (実績)	前年同期比	
人件費	1,270,830	943,940	+ 326,890	+ 34.6%
地代家賃	212,040	202,762	+ 9,278	+ 4.6%
減価償却費	206,225	162,021	+ 44,204	+ 27.3%
発送配達費	201,666	150,093	+ 51,573	+ 34.4%
備品消耗品	139,498	97,023	+ 42,475	+ 43.8%
販売促進費	101,742	83,239	+ 18,503	+ 22.2%
広告宣伝費	89,817	92,356	▲ 2,539	▲ 2.7%
旅費交通費	38,970	19,122	+ 19,848	+ 103.8%
販管費	2,839,189	2,162,977	+ 676,212	+ 31.3%

2022_1Q | 連結BS概要

- 総資産は、前年度末比+40.7億円の253.9億円。主な要因は、売上増に伴う流動資産（売掛債権及び棚卸資産）の増加と新規店舗オープン及びスパリゾート施設建設による固定資産の増加等によるもの。
- 増加運転資金を用途とする借入により有利子負債が増加。

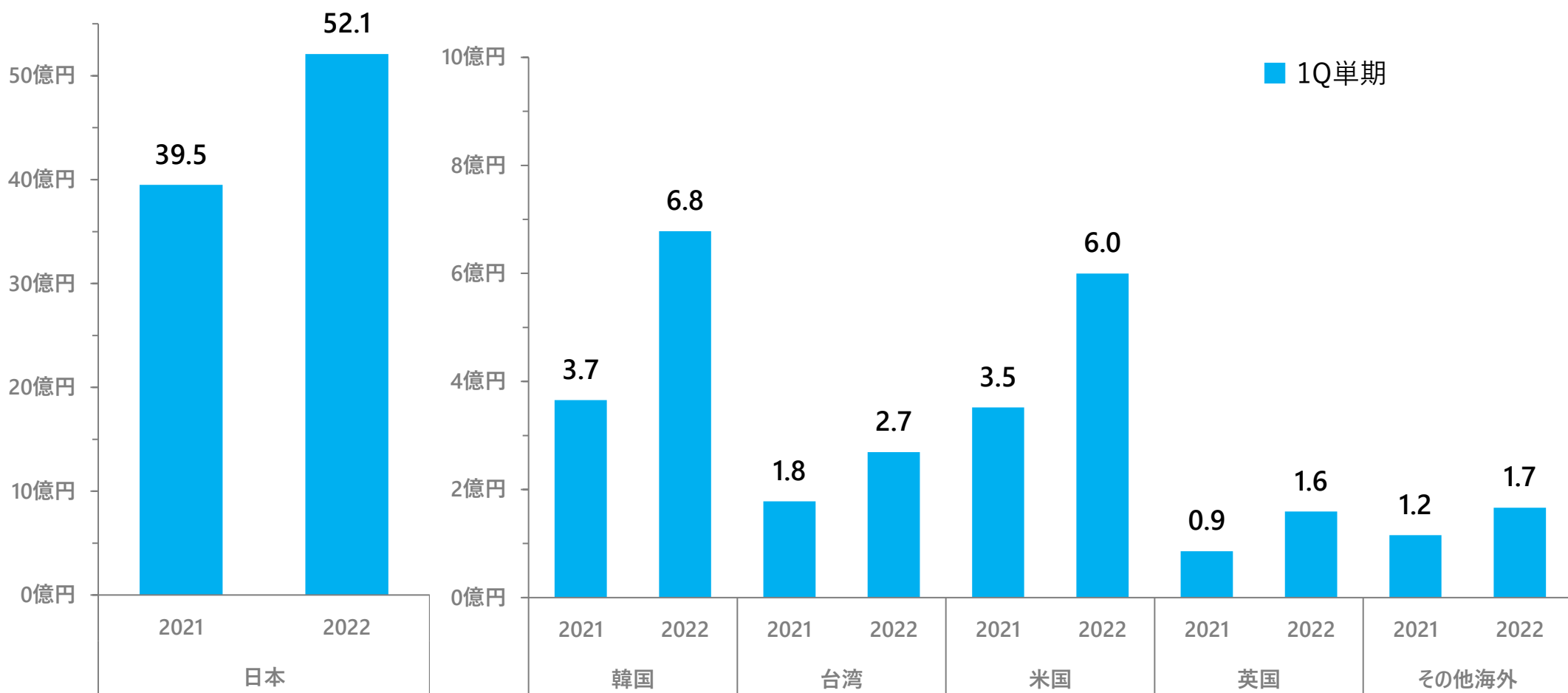
項目 (単位：千円)	FY22.12		FY21.12		
	1Q	構成比	4Q	前期末比	
総資産	25,391,008	100.0%	21,318,711	+ 4,072,297	+ 19.1%
流動資産	11,410,255	44.9%	9,890,063	+ 1,520,192	+ 15.4%
棚卸資産	4,074,496	16.0%	3,089,323	+ 985,173	+ 31.9%
固定資産	13,980,753	55.1%	11,428,647	+ 2,552,106	+ 22.3%
流動負債	7,550,917	29.7%	5,098,528	+ 2,452,389	+ 48.1%
固定負債	3,885,910	15.3%	2,370,507	+ 1,515,403	+ 63.9%
有利子負債	4,625,000	18.2%	2,715,000	+ 1,910,000	+ 70.3%
純資産	13,954,179	55.0%	13,849,674	+ 104,505	+ 0.8%

※ 当第1四半期連結会計期間の期首から米国会計基準を適用している米国子会社において「新リース会計基準（ASC第842号）」を適用
新リース会計基準に基づき使用权資産1,034,377千円及びリース債務905,790千円を計上

自己資本比率	54.8%	62.7%	▲ 7.9pt
D/Eレシオ	0.33x	0.23x	+ 0.10x
ネットD/Eレシオ	0.07x	▲0.03x	+ 0.10x

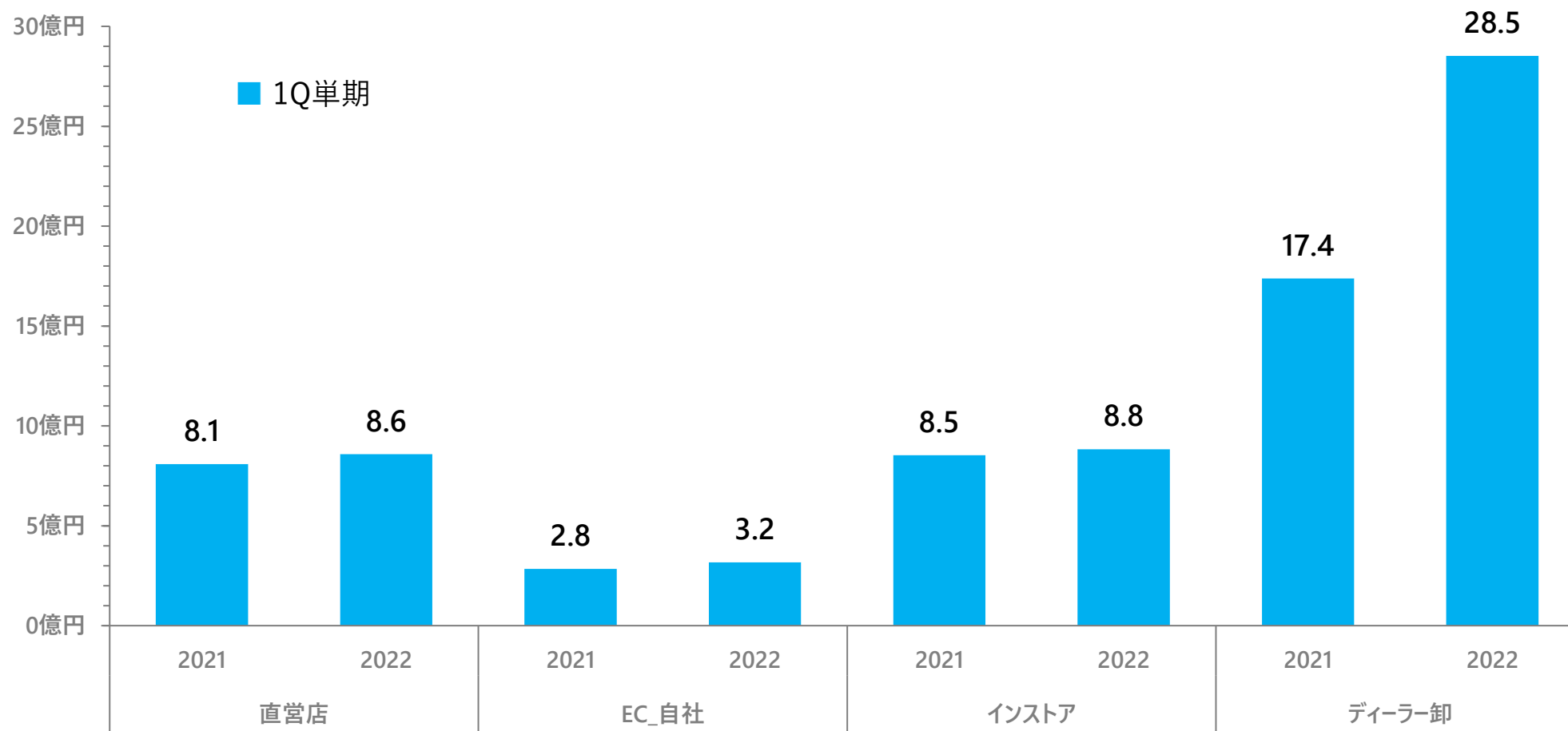
2022_1Q | 売上高（累計） 国・地域別

- 世界的なキャンプ需要の高まりとブランド認知浸透に伴い全ての地域で大幅増収を達成。
- 韓国・台湾は高いキャンプ需要が継続し全ての販売チャネルにて売上が伸長。
- 韓国から越境EC及び卸売り形態で販売強化を図っている中国についても、売上は1.3億円と前年を上回る実績。
- 米国・英国は物流遅延の影響を受けるもリテール向け営業強化により卸売り形態の売上が伸長。



2022_1Q | 売上高販売形態別：日本

- 底堅いキャンプ需要を背景に、売り場拡充や取扱商品量の拡大に伴い卸売先の売上が大幅に伸長。



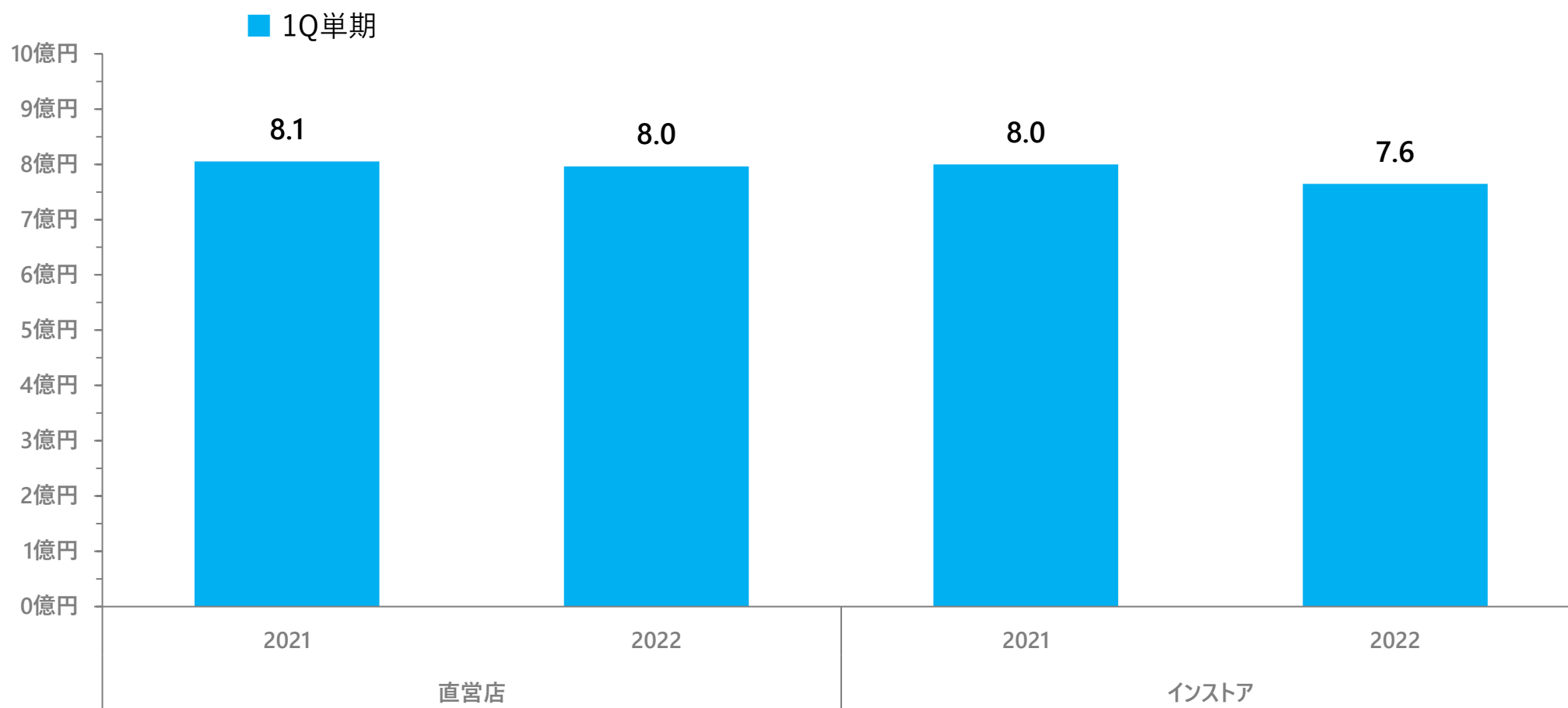
※ EC_卸で開示していた売上をディーラー卸に計上項目を変更

※ スノーピーク単体の売上高から、海外への売上、子会社への卸売上を控除した数字

※ 各販売形態の売上は、収益認識会計基準に基づき計上される自社ポイント及び製品保証に関する売上の影響を反映する前の数値

2022_1Q | 既存店売上高：日本

- 直営店・インストアは新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に加えて、厳しい寒さが続いたこともあり来店客数が鈍化し前年と同水準で推移。

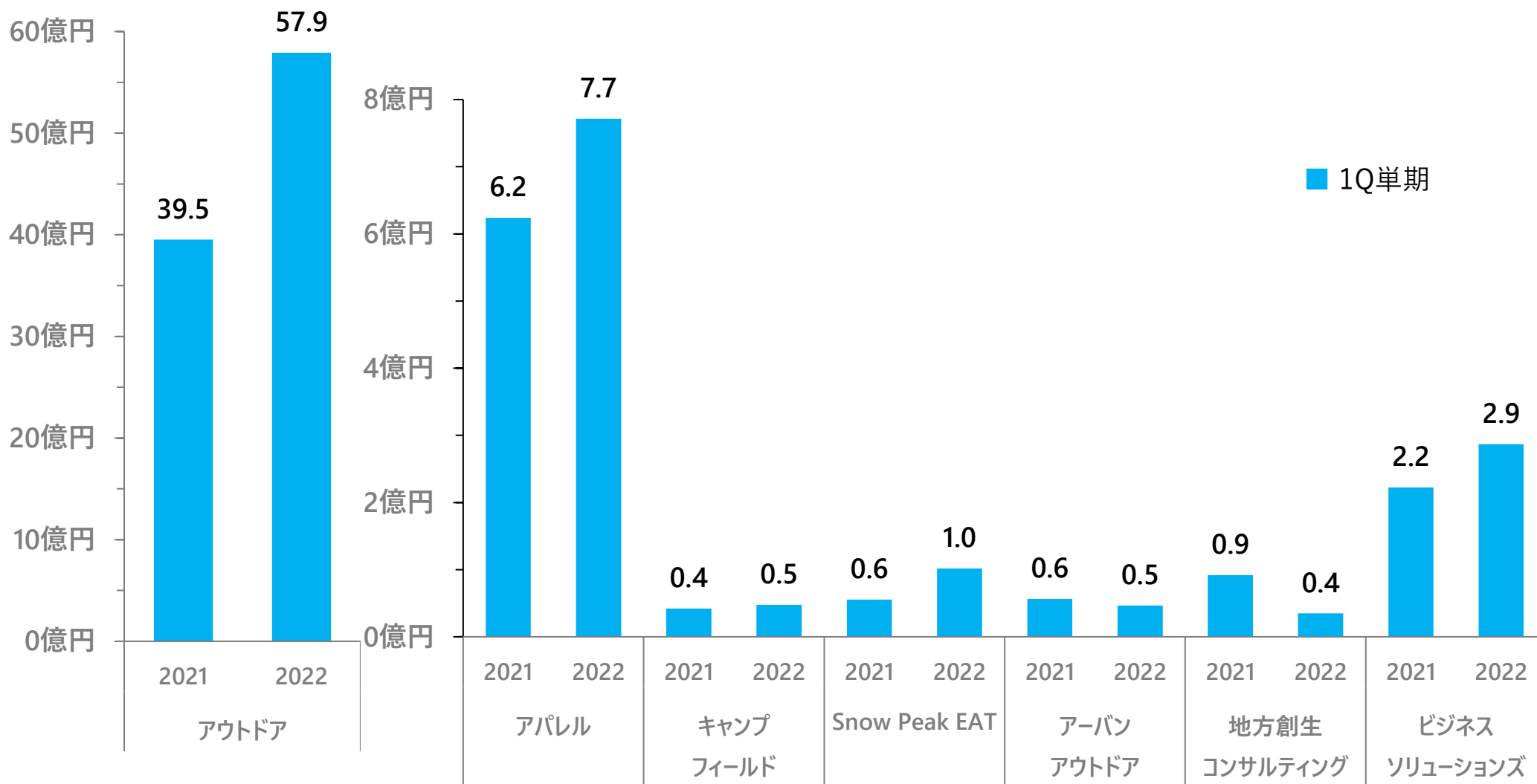


※ 既存店とはオープン年の翌年から1年経過した店舗を指す

※ 各販売形態の売上は、収益認識会計基準に基づき計上される自社ポイント及び製品保証に関する売上の影響を反映する前の数値

2022_1Q | 売上高（累計） 事業別

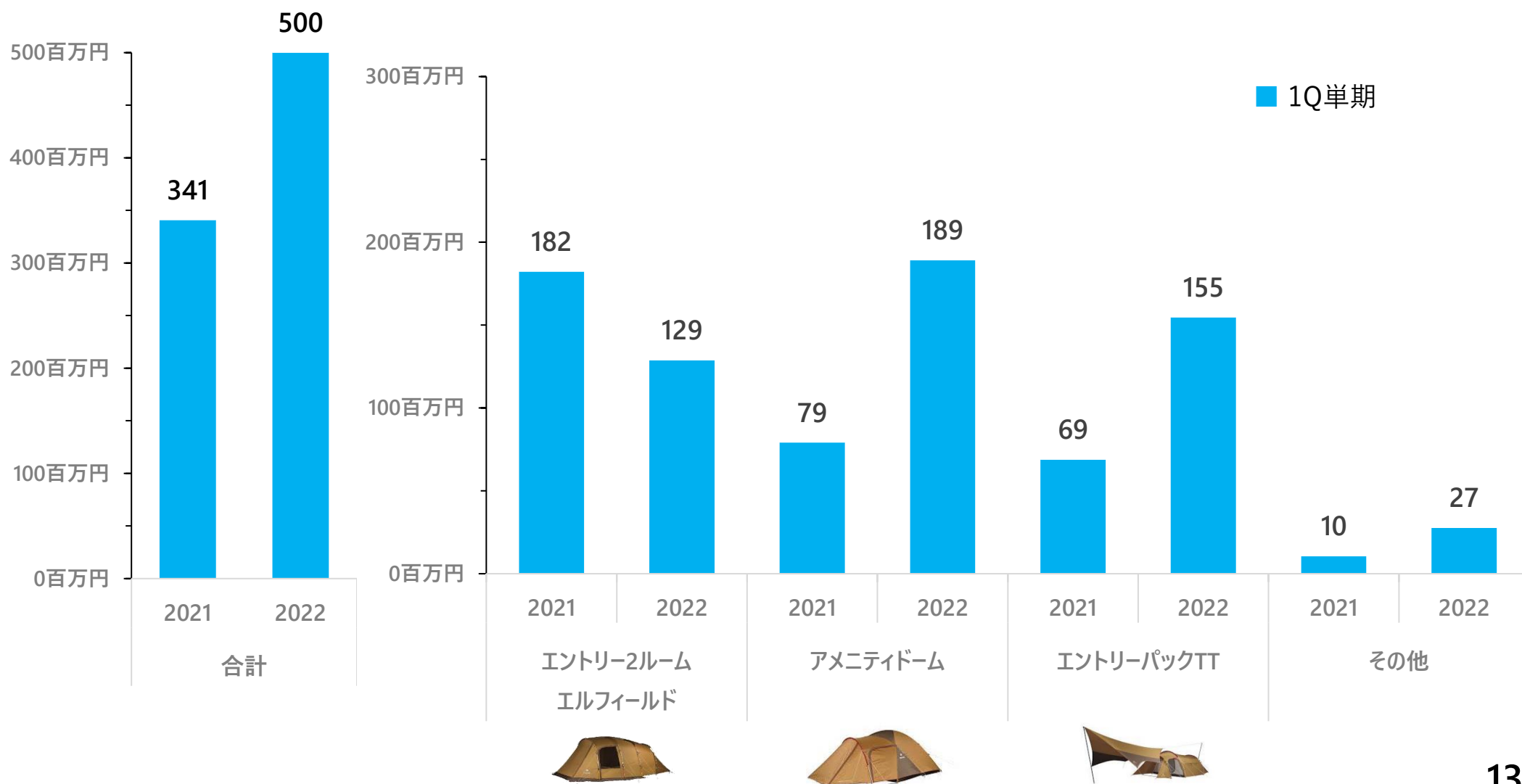
- キャンプ需要の高まりが継続していることから、前年に引き続きグローバルでアウトドア事業が成長。
- アパレル事業についても、ブランド認知の進展に伴い業界環境が厳しい中においても前年以上の売上を達成。



※ ビジネスソリューションズの売上については、スノーピークグループ向けの売上を包括した数値

2022_1Q | エントリー商品の販売状況

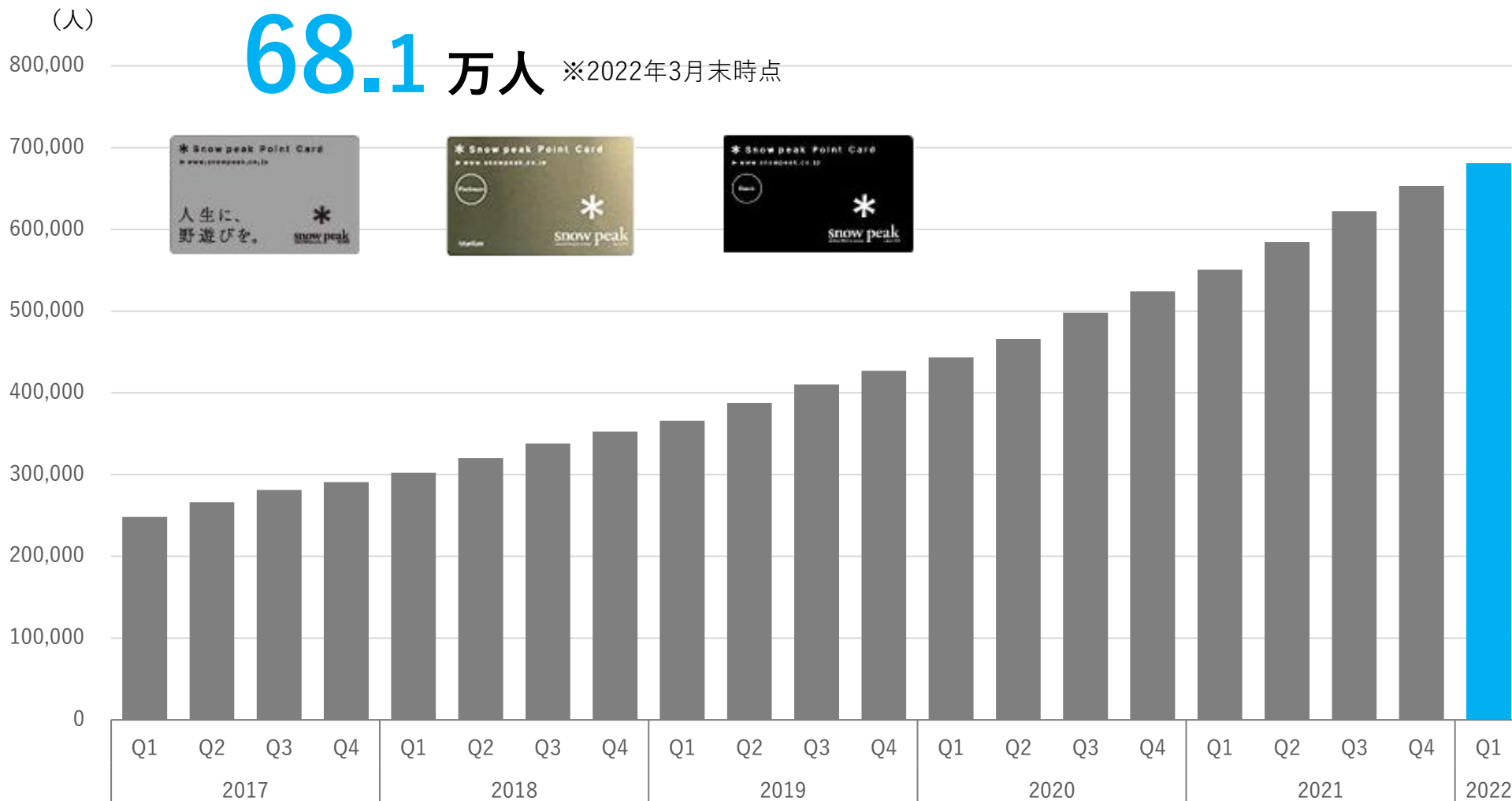
- 新規キャンパーの取込みに併せて、エントリー商品の需要は高水準を維持。















ポイントカード会員数の推移（日本）

キャンプ需要の高まりを背景としてエントリー層を中心にポイントカード会員の会員数は引き続き順調に増加。

スノーピークポイントカード会員数



店舗数の状況

	販売形態	店舗形態	販売員	店舗数
小 売	直営店	 リアル店舗 40-150坪	 弊社スタッフ	42 (日本：32)
	EC_自社	 オンライン	 弊社スタッフ	日本・韓国 台湾・米国 英国
卸 売	EC_卸	 オンライン	 取引先スタッフ	(日本) Amazon.com 他
	インストア	 リアル店舗 30坪 占有売場	 弊社スタッフ	74 (日本：72)
	ショップインショップ	 リアル店舗 15坪 占有売場	 弊社研修を受けた 取引先スタッフ	236 (日本：208)
	エントリーストア	 リアル店舗 3坪 占有売場	 弊社研修を受けた 取引先スタッフ	260 (日本：255)

※店舗数 | 2022年3月31日時点

海外展開の状況

	国と地域	展開製品カテゴリ	事業拠点	店舗	EC	会員システム
アジア	日本	・アウトドア製品 ・アパレル製品 ・アーバンアウトドア製品	○	○	○	○
	韓国	・アウトドア製品 ・アパレル製品 ・アーバンアウトドア製品	○	○	○	○
	台湾	・アウトドア製品 ・アパレル製品	○	○	○	○
	中国	・アウトドア製品	-	○ 卸売り拠点のみ	韓国から 越境EC	-
欧米	米国	・アウトドア製品 ・アパレル製品	○	○	○	(準備中)
	英国	・アウトドア製品 ・アパレル製品	○	○	○	(準備中)
その他	25ヶ国で 製品流通	・アウトドア製品 ・アパレル製品	-	○ 卸売り拠点のみ	-	-

2022_1Q | ビジネスハイライト



複合型リゾート | FIELD SUITE SPA HEADQUARTERS (4/15開業)

- 2022年4月15日に「衣食住働遊」のすべてが詰まったライフバリューフィールドの実現を目指すプロジェクトの第一弾として温浴施設を中心とした自然を感じる複合型リゾート「FIELD SUITE SPA HEADQUARTERS」を開業。
- 世界的建築家である隈研吾氏の設計によるもので、日本三百名山の一つである栗ヶ岳の眺望を楽しめる温浴施設や地元の食材を生かしたレストラン、自然との一体感を感じることの出来る宿泊施設を有する。



直営店 | Snow Peak LIFE BIOTOPE STORE 二子玉川 (4/29開業)

- 2022年4月29日、二子玉川 蔦屋家電（東京都世田谷区）に、スノーピークとしての初めてとなる業態の店舗「Snow Peak LIFE BIOTOPE STORE 二子玉川（スノーピークライフビオトープストア二子玉川）」を開業。
- 「Snow Peak LIFE BIOTOPE STORE 二子玉川」では、スノーピーク初の家具ブランド『TUGUCA』を「趣味空間」・「ホームオフィス」・「ファミリースペース」という3つの生活空間にて展示。
- テントなどのキャンプギアからアパレル、そしてインドアとアウトドアの2つのシーンで心地よく使えるHOME&CAMP（ホームアンドキャンプ）シリーズなども多数展示。



三重県いなべ市と包括連携協定を締結（3/7締結）

2022年3月7日に当社は三重県いなべ市（市長：日沖靖氏）と地域活性化に向けた包括連携協定を締結。今回の連携はスノーピークが取り組んでいる地方創生の一環であり、地方自治体等との包括連携協定締結は24例目。

1. 協定の目的

この協定は、いなべ市及び株式会社スノーピークが包括的な連携のもと、互いの人的資源等を活用し、相互に幅広い連携・協力関係により、地方創生に資する取組み等、諸課題に取り組むことで、新たな地域活力の創出、地域経済の発展及び市民サービスの向上を図ることを目的とする。

2. 協定で定める連携事項

1. 地方創生の推進に関する事。
2. 関係人口創出の振興に関する事。
3. 観光の振興に関する事。
4. 野遊びSDGsの推進に関する事。
5. 野遊びSDGsの拠点運営に関する事。
6. 人材育成に関する事。
7. その他、本協定の目的達成のために必要とする事。



Appendix



About Snow Peak



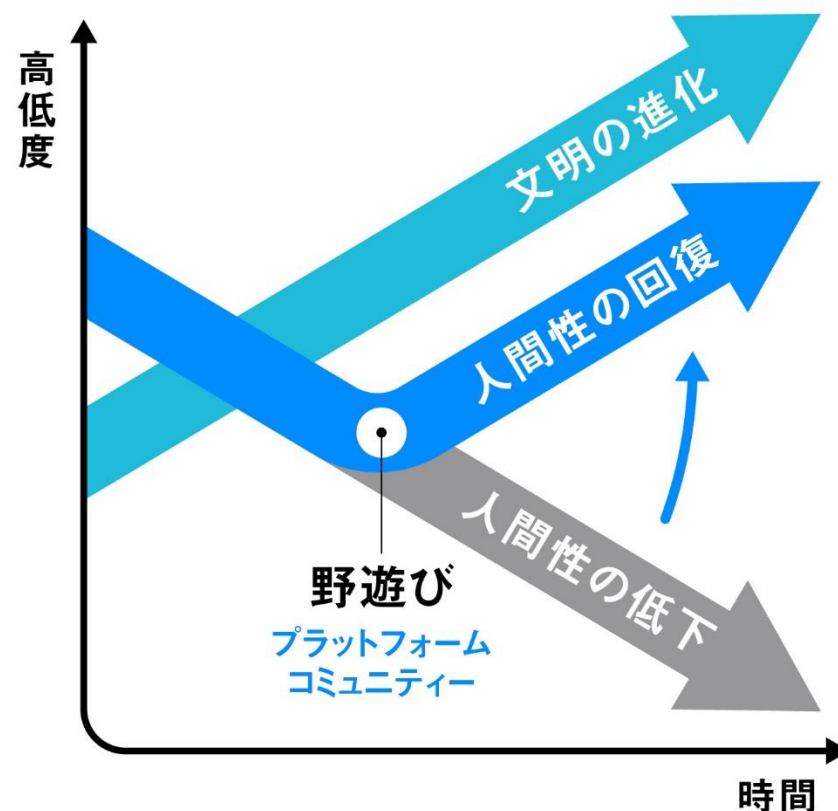
新潟県燕三条発の アウトドアブランド

燕三条が誇る金属加工技術を背景に機能的で、美しく、頑丈なアウトドアギアを次々と世に送り出し、日本のアウトドアシーンを牽引。

人間性の回復と、 自然指向のライフバリューの提供。

文明の進化が著しい現代社会は、
ストレスの増大など人間性の低下が危惧され、
人間性を回復させたい欲求が
高まり続けると当社は考えます。

自然の中で生きる力を育み、
家族や友人とのコミュニケーションを深めるなど、
「自然と人、人と人とのつながり」を提案しながら、
人間性の回復と自然指向の豊かなライフバリューを、
衣食住働遊のすべてにおいて提供します。



私たちは、
キャンプの力を
信じています。

私たちはキャンパーを幸せにできる。
しかし日本のキャンプ人口はおよそ7%。
大都市から大自然、地球上のあらゆる場所、
あらゆる人に、キャンパーの価値観を広めるため、

衣食住働遊に沿った
体験価値を提供し、
自然指向のライフバリュー
を提供します。



About Snow Peak | 弊社が提供するライフバリュー

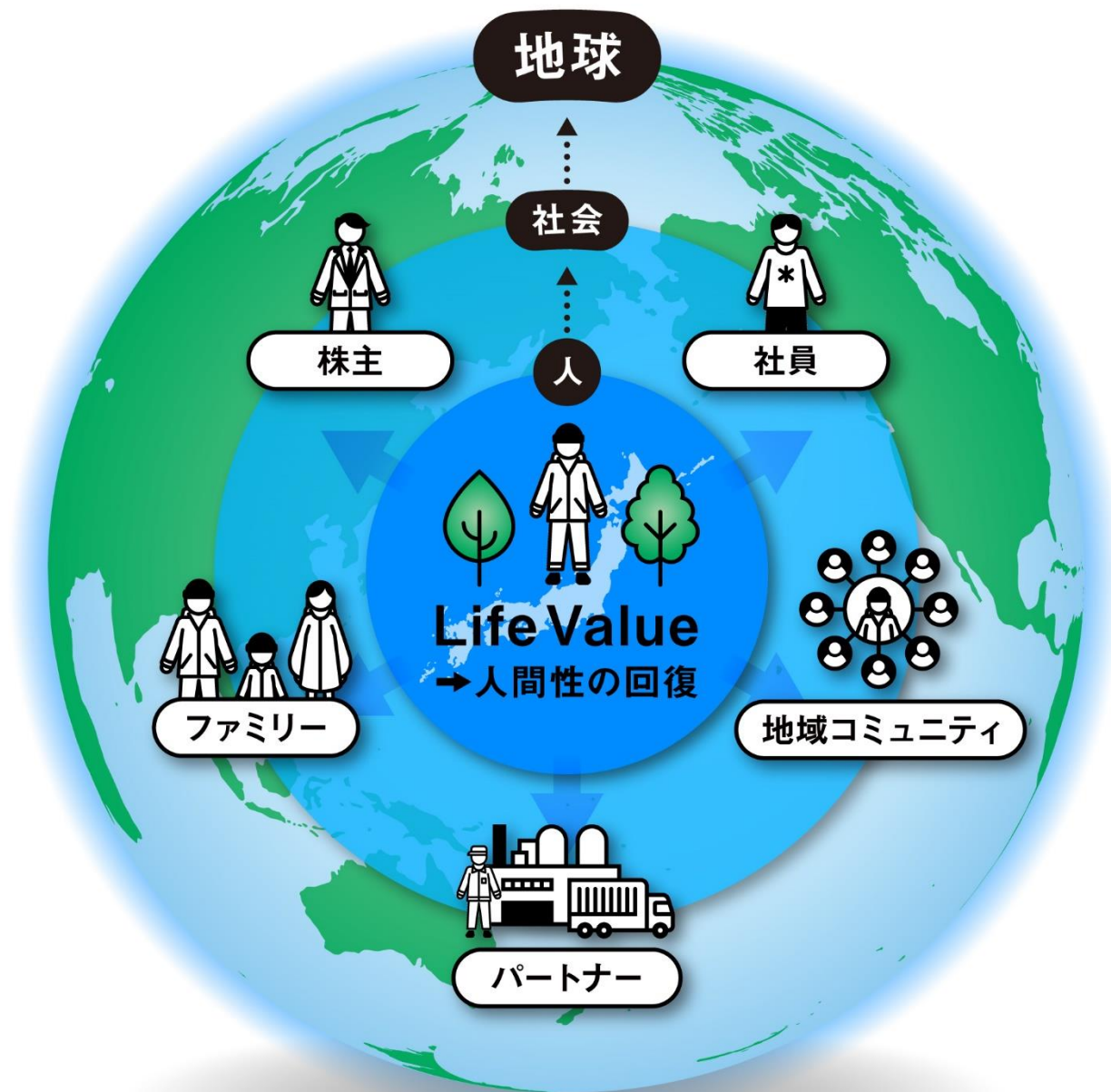
自然指向のライフバリューを、
すべてのライフステージへ。

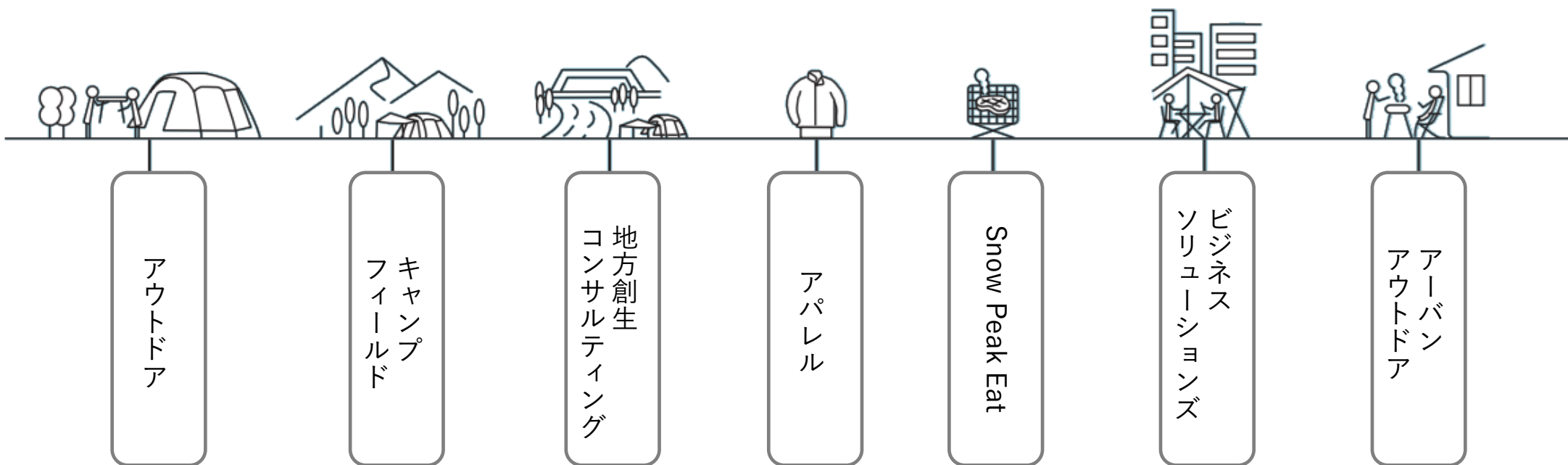


顧客生涯価値を提供してまいります。

Life Value の 提供を通じて、 自然と共生する 豊かな未来を。

個人、家族、地域社会、
そして私たちのフィールド
である地球のために、
これからも事業を通じて
貢献し続けていきます。





遊働住食衣

「野遊び」を軸にライフバリューブランドを展開

About Snow Peak | キャンプフィールド運営

スタッフや製品がそろったフィールド拠点はキャンプや野遊びの価値を伝えるリアルメディアとして機能。



Snow Peak 十勝ポロシリCF



Snow Peak Headquarters CF



Snow Peak Land Station Hakuba



Snow Peak 箕面CF



Snow Peak 奥日田CF



Snow Peak 土佐清水CF



Snow Peak おち仁淀川CF

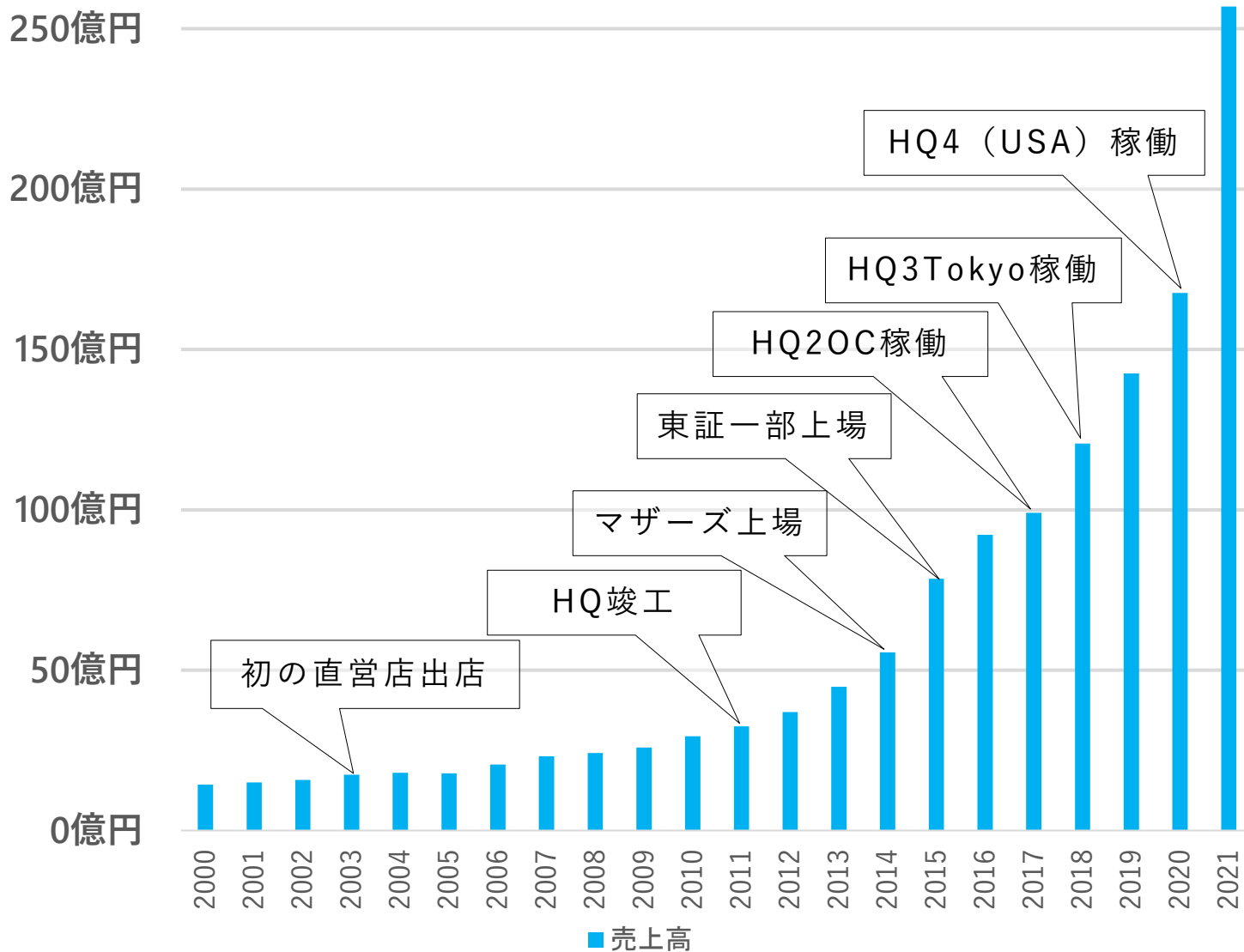


SPARKFIELD Snow Peak TOYOTA-KURAGAIKE



Snow Peak かわの駅おち

About Snow Peak | スノーピークの成長



2000年度以降

約 **20** 年に渡り
成長基調を継続

2005年度より

16 期連続での
増収を達成

本資料に関するご注意

本資料は、株式会社スノーピークの事業および業界動向に加えて、株式会社スノーピークによる現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまといます。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社スノーピークは、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することは出来ず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料を開示した直近決算発表日時点現在において、利用可能な情報に基づいて、株式会社スノーピークによりなされたものであり、直近決算発表日時点現在にて想定していない出来事や状況を反映して、本資料における将来の展望に関する表明の記載を遡って更新し、変更するものではありません。